





かんたんSC <心線把持型> 取扱説明書

このたびは“本製品”をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、取扱説明書をよくお読みいただき、正しく効果的にお使い下さいますようお願い申し上げます。


安全にお使いいただくために


次の表示は人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を示してあります。内容を十分に理解してから本文をお読み下さい。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害の可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が予想される内容です。

本書の内容につきましては万全を期してはおりますが、お気付きの点がございましたら、連絡先までお申しつけ下さい。

本製品の故障、誤動作、不具合あるいは外部要因によって生じた損害につきましては、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご承知下さい。

 警告
光ファイバを取扱う際、折れた光ファイバが皮膚や目に刺さり大怪我をする可能性があります。作業時は常に保護眼鏡を着用して下さい。 光ファイバの清掃にはアセトンなどの有機溶剤は使用しないで下さい。人体への悪影響、および光ファイバへの悪影響の可能性があります。

 注意
本製品に強い衝撃を加えたり、濡らしたりしないようにご注意下さい。また、湿気やほこりの多い場所に放置しないで下さい。故障の原因となることがあります。 本製品を保管する場合や持ち運びの際には、出荷時の袋に個装された状態のまま行い、ご利用になる直前に袋から取り出してご使用下さい。

お問い合わせ先

古河電気工業株式会社 技術部

TEL:03-6281-8571

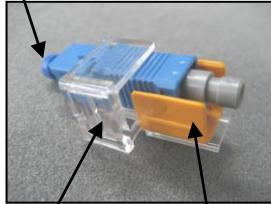

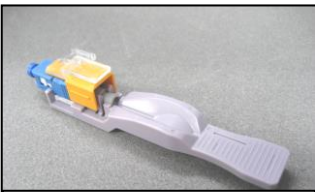

株式会社 正電成和 本社 営業部

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-6-8

TEL:03-3518-5657

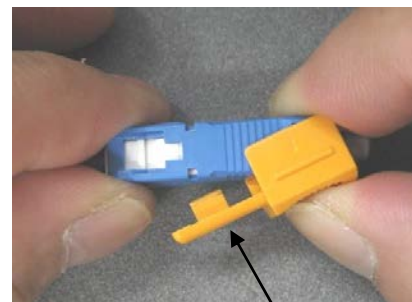
FAX:03-3518-5659

1. かんたんSC <心線把持型>の構成部材

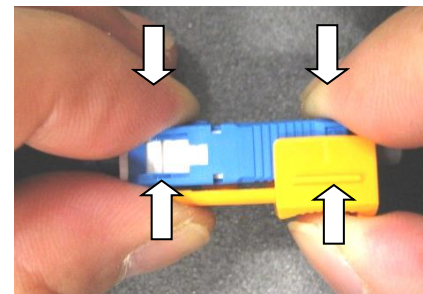
< コネクタ本体 >	< 挿入治具 >	< ブーツ >
 <p>キャップ クサビ抜き防止部品 クサビ</p>	  <p>コネクタ本体を挿入治具にセットした状態です。</p>	 <p>製品によっては、構成品に含まれない場合がございます</p>

<クサビの挿入方法>

クサビが傾いている場合は、クサビが外れている可能性が高いため、矢印の2箇所を同時に手で押し込んでください。
クサビが正常な挿入状態に戻ると、プラグ本体とクサビの隙間がほぼ平行になります。



クサビが外れた状態



その他接続で使用する治工具類は別途ご用意下さい。

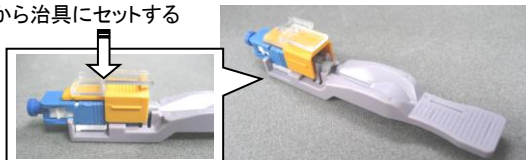
- ①被覆除去用ストリッパ
- ②ファイバカッター

2. かんたんSC<心線把持型> の 組立手順

2-1. コネクタの準備

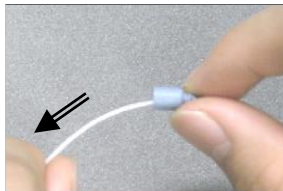
コネクタ本体を挿入治具にセットして下さい。

上から治具にセットする



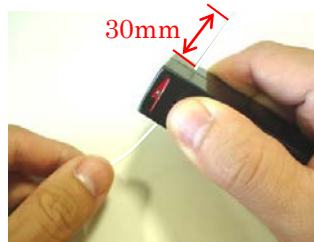
2-2. ブーツの挿入

ブーツの後ろ側から心線を挿入し、心線を引き出して下さい。



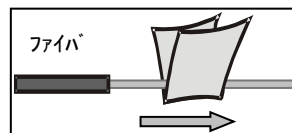
2-3. 心線の被覆除去

ストリッパにて約 30mm 程度、被覆を除去して下さい。



2-4. 清掃(スクリーニング)

アルコールを湿らしたベンコottonでファイバを清掃して下さい。
(清掃後ファイバをたわませ、傷がないことを確認して下さい)。



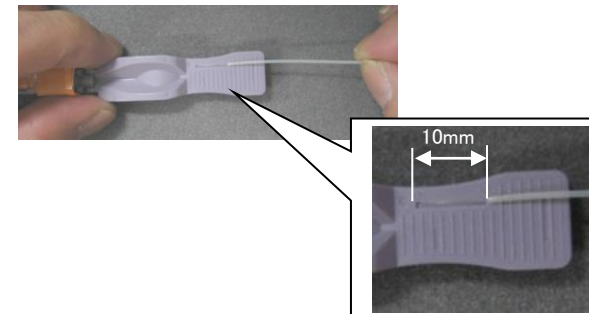
2-5. ファイバカット

ファイバが切断長 10mm になるように切断して下さい。
※カッタの取扱いに関しては、カッタの取扱説明書を参照願います。



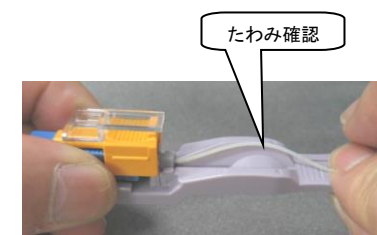
2-6. ファイバ長確認

ファイバカット後、挿入治具後部に心線を乗せて長さが 10mm であることをご確認下さい。



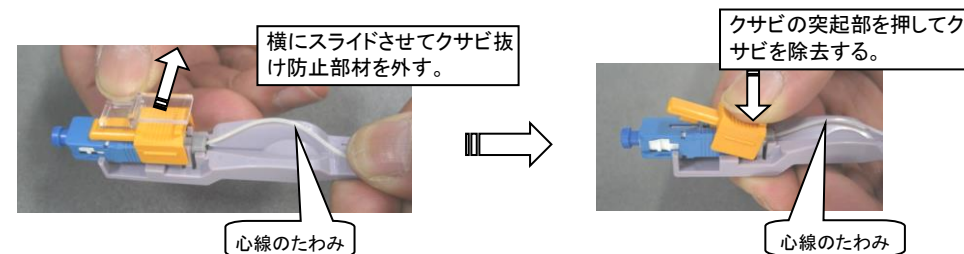
2-7. ファイバ挿入 → たわみの確認

長さを確認したら、ファイバをコネクタ奥まで差し込んだときに心線がたわんでいることを確認して下さい。
※たわみ量の目安・・・ガイド壁に沿ってたわませる



2-8. クサビ抜け防止部品外し → クサビの除去

心線がたわんだ状態のまま、クサビ抜け防止部品を取り外し、クサビを除去して下さい。



2-9. ブーツの挿入

クサビを外したコネクタ本体を挿入治具から取り外してブーツをはめ込んで完成です。

